

【施策評価調査】

施策名	3-2-1 リサイクル総合計画の策定と運用		98	リサイクル総合計画を町民に周知することにより、町民のリサイクルに対する意識効用・可燃ごみの減量化に資することとします。そのために、リサイクル総合計画に記された「リサイクルの推進に関する実施計画」を着実に推進していくこととします。
	高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	住民生活部環境課	担当 リーダー	環境担当 金澤公二	生ごみ、可燃ごみ、古着、剪定枝、発泡スチロール、ペットボトルなど多岐にわたるごみについて、各品目別の有効なリサイクル方法を示した総合的なリサイクル計画を策定します。特に懸案となっている廃プラスチックについては、有効なリサイクル方法を研究し運用を図っていきます。資源循環型社会*の実現に向けてリサイクル体制を強化し、地域と協力した効果的な運用を図ります。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化	農村部の可燃ごみ自家処理が減少し、可燃ごみの収集量が多くなってきている。又、古紙の流通価格が上昇し新聞販売店の自主回収が増加したため、古紙の回収量が減少してきている。			

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：可燃ゴミのリサイクル率(%)	平成16年度	計画	34%	35%	37%	38%	40%
		実績	32.40%	31.40%	28.80%		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	計画と実績に乖離があるため、指標の見直しを検討する必要があると思われます。						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	7,468,000	2,292,000	1,845,000	2,105,000	
	決算	6,403,122	1,948,880	3,342,219		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
リユース食器貸出事業費	H21 現計 335,000	貸出件数	イベント等におけるごみの減量化が図られるとともに、参加者に環境保全やリサイクルに関する意識を高めてもらうことができる。		
	H22 計画 400,000				
		30件			
剪定枝等再資源化事業費	H21 現計 456,000	剪定枝等処理量	可燃ごみの減量化に寄与するとともに、住民のリサイクル意識高揚につながる。また、作業を障害者授産施設に委託しているため、障害者の就労機会確保にもつながっている。		
	H22 計画 505,000				
		5,000kg			
資源ごみリサイクル事業	H21 現計 700,000	報償金交付件数	報償金を交付することで、自主的な回収の輪が広がり、町民のリサイクル意識の高揚を図ることができる。また、ごみ減量化が推進されて回収や処理費の削減につながり、エネルギーの節約や環境負荷の低減を図ることができる。		
	H22 計画 800,000				
		50件			
廃食用油BDF事業費	H21 現計 614,000	廃食用油処理量	一般家庭では、通常可燃ごみとして排出される廃食用油をBDFにリサイクルすることにより、可燃ごみの減量化に寄与することはもとより、化石資源の使用削減等の効果が期待できる。また、製造したBDFを給食配達車やデマンドバスに利用し町内を巡回することで、町民のリサイクル意識高揚を図ることができる。		
	H22 計画 710,000				
		5,750			
	H21 現計				
	H22 計画				
				今後の方向性(総合評価)	条件付継続

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	今後更なるリサイクルの推進と可燃ごみの減量化を目指し、環境基本計画及びリサイクル総合計画に掲げられた施策を展開する。	
現状水準維持			
総合評価	後期計画に向けて、現在行っていることを確認し、全体像をきちんと掴んだ上で、住民が日常生活の中で取り組みやすい手法の検討が必要と思われる。今後も、事業を通じて波及効果が出るような取り組みや町民が誇りを持てるような施策展開を検討すること。		